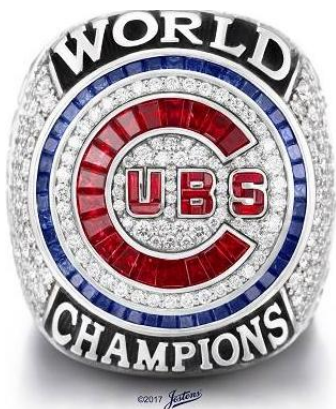




2017年4月13日

2016 World Series Champion シカゴ カブス チャンピオンリング

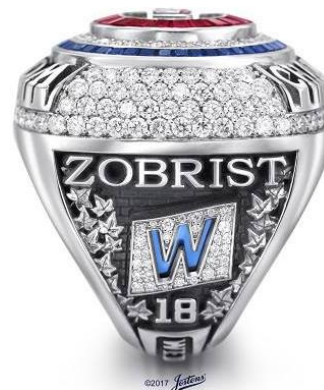
2016年劇的な逆転で World Series を制し 108年振りのチャンピオンに輝いた「シカゴ カブス」のチャンピオンリングセレモニーが、4月12日 本拠地「Wrigley Field (リグレーフィールド)」で行われました。108年という長い時期の間には、色々な歴史があり、ナイター設備を長年しなかった球場、「ビリー・ゴートの呪い (ヤギの呪い)」があったから勝利できない、などと言われるような話がただあります。「ヤギの呪い」と言われる伝説から 108年振りにチャンピオンに輝いた事から、108個のダイヤモンドを入れたり、ヤギの画をリングに彫ったりと、ユニークな施しが、今回のリングにはされています。日本人選手もメジャー、マイナーと合わせると 9人所属した歴史があり、今年は「レッドソックス」から上原選手が移籍してプレーをしています。



14Kのホワイトゴールドがベースで作製されたリングは、カスタムカットされた46個の天然石ブルーサファイアで覆い囲まれ、その中に72個のダイヤモンドで囲まれた Cubs のロゴを、33個のカスタムカットされた天然石のルビーで表現されています。両脇に渡って更に覆い囲んでいるのは、108年振りにちなんで、108個のホワイトダイヤモンドになります。

このチャンピオンリングに使われている石の重量は、5.50カラットのダイヤモンド、3.0カラットの天然石ルビーそして、2.5カラットのサファイアになります。

上部に選手の名前が入り、下部には、選手の背番号が入ります。真中には、カブスが、本拠地「Wrigley Field」で勝利した際に球場に掲げられる「Win Flag」が、31個のダイヤモンドで作られ「W」の下には、ブルーコランダムが入っています。その周りを、レンガとツタで覆う様にデザインされています。





本拠地「Wrigley Field」正面シルエットには「CUBS WIN!」と書かれた大きなヒサシがあり、上部には、優勝した年「2016」が、刻まれています。中央には、ホワイトダイヤモンドが入った「ワールドシリーズトルフィー」が刻まれていて、その両脇には、以前「ワールドチャンピオン」になった回数2回を、ホワイトダイヤモンドで表しています。バックには、もう片方同様レンガが刻まれています。



内側には、「ワールドシリーズチャンピオン」になった瞬間の2016年11月3日 12:47AMと、プレーオフの対戦相手「サンフランシスコ ジャイアンツ」「ロサンジェルス ドジャース」「クリーブランド インディアンズ」の対戦成績が、ロゴと共に刻まれています。また淵の方には、冒頭で済ました「ビリー・ゴートの呪い」を象徴するヤギの画が、刻まれています。